



発行日】平成 22 年 8 月 1 日【編集・発行】横浜市桂台地域ケアプラザ【発行責任者】石塚 淳

HPアドレス: <http://www.katuradai.com>

子どもが作る「弁当の日」が今年で 10 年になるそうです。香川県の竹下校長先生が始めたこの取り組みは、今では全国 600 校以上にも広がっています。『子どもが作る「弁当の日」は、献立作り、買い出し、調理、弁当詰め、片づけまで、全部やるのは子ども自身。決して弁当に点数をつけたり、評価をしたりしません。こっそり親に手伝ってもらおう子がいても、それでいい。全部自分で作った友だちの弁当を見るうちに、きっとその子も「次は自分で作ってみよう」と密かに決心するはずだから…。「弁当の日」を通して、育つ環境が変わった子どもたちには、こんなことが起こりました。いくら見かけが悪くても「自分で作った弁当」をうれしそうに食べる。朝から友達と弁当の見せ合いっこをする。友達のおかずに刺激され、台所で練習し始める。両親や祖父母に料理の作り方を聞くようになる。親が病氣したとき、食事を作ってあげるようになる。食事を作る家族や給食調理員の思いが分かり、残食がなくなる・・・子どもたちの「1人前になりたい」「家族の役に立ちたい」「ありがとうって言われる存在になりたい」という思いを叶えるきっかけ、それが「弁当の日。』（ホームページから抜粋）

とても、あたたかい取り組みだと思いい紹介しました。さらに、竹下先生の児童に贈った言葉が素敵です。ほんの一部ですが、『食事を作ることの大変さがわかり、家族をありがたく思った人は、優しい人です。食材が弁当箱に納まるまでの道のりに、たくさんの働く人を思い描けた人は、想像力のある人です。「あるもので作る」「できたものを食べる」ことができた人は、たくましい人です。』などなど、どれも心のこもった一言です。

さて、今回の特集は子育て支援分科会！わが地域にもさまざまな、心がほんのりあたたまるような活動が、たくさん花開いています。ぜひ、ご一読してみてください。

夏休み特別企画

「マジックショー&創作紙芝居」の豪華二本立て！

～笑い感動で暑さをふきとばしましょう～

日時：8月25日(水)

紙芝居上演 13:30～14:00

マジックショー 14:00～15:00

場所：桂台地域ケアプラザ 2F多目的ホール

出演：「紙芝居一座 さかえ」の皆さん

「いたちマジッククラブ」金子和男さん 他

対象：幼児～どなたでも(未就学児は保護者同伴)

モニター募集

地域交流プログラムのモニターを募集しています。

一定の期間この広報紙をお読みいただき、アンケートをお願いするものです。紙面の充実のためにぜひご協力下さい。

モニター期間：9月～2月 先着：10名

ご協力いただいた方には、粗品を贈呈いたします。

ご応募お待ちしております。

連絡先：桂台地域ケアプラザ

龍先生の健康相談

ケアプラザの協力医で内科医の龍先生による、無料の健康相談を下記の日程で行なっています。身近な病気の相談など丁寧に対応して下さいます。(予約優先)

協力医：龍 覚先生(上郷医院 院長)

日時：8/27(金)

9/10(金)9/24(金)

13時半～15時

場 所 桂台地域ケアプラザ 相談室



ケアマネジャー紹介

桂台地域ケアプラザのケアマネジャーは、現在4名です。(勝呂、八巻、中野、井上一全員女性です)メンバーのうち、中野、井上は昨年からのケアマネジャーになりました。それでは、一言ずつ「皆様とよりよい関係を

作っていけるように頑張っています」(中野)

「皆様が安心して生活できるよう暖かくご支援させていただきます。」(井上)

皆さま、どうぞ

よろしくお願いします。



中野

井上

地域で育てる子どもたち!

桂台地域ケアプラザ 子育て支援分科会の報告



子育て支援分科会って?

この分科会は、子どもたちが健やかに成長するため、若いお母さん、お父さんが安心して子育てできるように支援することを目的に活動を行っています。支援者どうしの情報交換が主ですが、協力して親子講座を開催するなどの活動も行っています。子育て分科会に参加しているメンバーは、本郷中央地区・上郷西地区の主任児童委員さん、子育てサロンの支援者代表、当ケアプラザで運営している「おもちゃ文庫」の支援者さんたちです。今回のお話しあいの中で、子育てにまつわる良いお話を沢山伺うことができましたので、ここにご報告させていただきます。



子育て分科会の一場面

みんなで一緒に育てる

初めての子育ては不安やとまどいでいっぱいです。ましてや親の思い通りにいかないことは日常茶飯事。他の子どもとついつい比べてしまったりむやみに子どもを叱ってしまうことが多々あります。おもちゃ文庫の支援者さんはママさんたちからいろいろな悩みをきいています。

『「イヤイヤ」ばかりでいう事をきかない・・・うちの子は言葉が遅いんだけど・・・ちろちろしてじっと遊んでくれない・・・子どもとどうやって接したらよいの・・・』人生経験豊かな支援者さんはお子さんやママたちの身近な応援者。

一緒に遊んだり、お話ししている中で、みんなの成長や変化を見守っています。時には褒めたり、自分の事のように感動したり・・・

育児への自信を失いかけたママは、褒められることで安心を取り戻し、悩みを共有してもらうことで、孤独さから脱却できるのです。

人とのふれあい、支えあいなしに子育てはできないと教えてもらえるエピソードでした。



手作りおもちゃ、絵本等
など 楽しいおもちゃが
たくさんあるよ!!

おもちゃ文庫 開館日 フリータイム (どなたでも利用可能)
月～金 10:00～13:00
わんぱくタイム (障害児専用)
月～金 13:30～17:00

*利用にあたっては、親子(成人付き添い)で利用して下さい。

*夏休み・冬休みの利用は上記と異なります。



実家のような「ほっと」出来る場所！！

さて、本郷中央地区でもう7年間も続いている「げんき」の話です。「げんき」のモットーは、「ママさんたちが、実家に帰ってきた時のように、ほっと一息つけるような場所を提供したい」ということです。「子育て中はお茶ひとつ落ち着いて飲めなかった」という自分たちの経験から「人は、やっぱりリラックスする場があることも大切」と、時には「ママたちを甘やかし過ぎではないの？」という声があっても「ここだけは、安心できる場にしよう」と地域のママさんたちを暖かく迎え、優しい気持ちで支援されています。私も以前訪問させていただきましたが、たくさんのママさんがお茶を飲みながら、安心して長居できるとても居心地のいい場所でした。

本郷中央地区：子育て喫茶「げんき」
開催日時：第2・4水曜日 10時～16時
場所：本郷地区センター 費用：200円（親子一組）

上郷西地区：こども広場さくらんぼ
開催日時：第3金曜日 10時～15時
場所：尾月自治会館 費用：無料

食育の大切さ

皆さん、どの支援者の方たちも口をそろえてお話しされていたのが、「食事の大切さ」でした。一番印象に残っている言葉は、「美味しいものじゃなくていいから、お母さんが作ったものを食べさせてあげて」というものでした。最近の子どもたちは、朝ごはんを食べずに登校することが多いです。「早寝、早起き、朝ごはん」食事は生きる原点、「パン一枚でもいいから食べさせてあげて」と支援者さんからの声があがりました。「前の日にひどく親子喧嘩をしてしまった時にさえ、次の日はお弁当が黙って作ってあった。そのありがたみを感じる」と、「たとえ道はずすことがあっても、ちゃんと戻ってくるのよね」とのお話もありました。



自分たちも輝きたい！！

ところで、地域サロンに通っているママさんたちだって、ただ参加しているだけではありません。彼女たちは、当ケアプラザ主催の親子講座の講師として参加してくれました。現役ママさんからの情報発信は大好評で、自分の専門知識を活かして、乳幼児の口腔ケアや歯によるおやつのお話をしてくれました。

エネルギッシュなママさんたち。今度は、参加者ではなく、運営者として自分たちでサロンを立ち上げる予定です。

おやこ異世代交流：元気Cafe
9/21（火） 毎月第3火曜日 10時～14時
絵本・手あそびタイム 11:45～
お弁当タイム 12:00～13:00
対象者：地域の皆さんどなたでも
参加費：200円（保険料・お茶代） 場所：桂台自治会館



取材を終えて

今回の分科会に参加して、地域の支援者の皆さん全員がパパさんママさんたちが安心して地域でいい子育てが出来るかを真剣に考え、支援をして下さっているその熱い情熱を感じることができました。このような暖かい気持ちの支援者さんの活動が続いて行くことを願ってやみません。

やはり、地域の皆さんに支えられて、子どもは育つのだと改めて実感することができました。

広がれ！災害時要援護者対策の輪

～上郷西地区高齢者等訪問活動連絡会～

去る6月26日、野七里地域ケアプラザにおいて、上郷西地区高齢者等訪問活動連絡会が開かれました。今年度のテーマは「災害時要援護者対策について」、講師はフローラ桂台の細田会長、栄区事業企画榎本係長でした。細田会長は、要援護者の支援システムづくりについて、「一朝一夕にはいかないけれど、住民の理解を促すには、時間と回数を重ねて丁寧に説明していく事、そして、案じているばかりではなく、まず一步を踏み出すことが大切である」と話されました。

また、榎本係長は、「普段の見守り活動では、個人情報保護法が壁になっているという声が多くあがっているが、ポイントは、個人情報の使用目的の明確化と適切な情報の管理にある。また災害時の要援護者対策は自治会、町内会の役員さんだけではなく、福祉活動者を含め地域全体で支え合うことが必要だ」とまとめられました。



グループワークの様子

後半の各自治会、町会、町内会に別れての話し合いも、それぞれに、「自分たちの地域でも取り組みを始めよう」という声が聞かれ、初めて参加した野七里ケアプラザの佐藤所長も、「勉強になりました。なんとも心強い地域ですね。」と感心した声をあげていました。

続報 支えあい連絡会・広報分科会の活動

～情報の届きにくい人に情報を伝えるには～

地域交流プログラム6月号に、支えあい連絡会・広報分科会の活動を特集した際、『必要な人に情報を届ける仕組みづくり』の方法として、次のような流れを提案しました。

- ① 地域に限定した保健福祉情報を満載したホームページを作成
- ② 保健福祉活動にかかわる民生委員・委嘱役員さんやボランティアさんが情報の受発信の場として活用
- ③ それぞれ、民生委員、委嘱役員、ボランティアさんが、ホームページからダウンロードした情報を自分の関わる方に提供

少しずつ目標に近づくためには、まず「このホームページの存在を知ってもらうこと」と「使い方を知ってもらうこと」の二つが大切です。

その第一歩として、6月26日、本郷中央地区・上郷西地区、それぞれの民生委員さんの会議におじゃましました。民生委員さんは、いわば地域福祉の推進役、いつも住民のみなさんの相談や助言などをされている方たちです。説明会の後では、前向きで積極的な意見を多数頂戴しました。

「子育て支援の情報は載せられますか？」 → もちろんです。

「携帯電話からアクセスできますか？」 → 現在は対応していませんが、検討します。

「我が、町内会にもホームページがあります！」 → ぜひ、リンクを張りましょう。

「サイト内の情報が見つけにくいです」 → 検索機能の追加を検討しています。

第一線で活動をしていらっしゃる民生委員さんの方たちだけに、さすが参考になるご意見ばかりでした。必要な人に情報を届けるために、一步を踏み出した支えあい連絡会・広報分科会です。ぜひ、一度は、<http://www.katuradai.com>までアクセスしてくださるようお願いいたします。出前説明会のご案内と広報分科会についてのお問い合わせは、045-897-1111です。

お気軽にご連絡下さい。

